

令和6年度



幼稚園だより 1月号

文京区立小日向台町幼稚園

巳年を迎えて ～令和七年の始まり～

園長 小岩井 聡

**新年あけまして おめでとうございます
本年もどうぞよろしく願いいたします**

令和7年（2025年）がスタートしました。先日「今年は昭和でいうと100年にあたる」というお話を伺いました。平成でいうと37年だそうです。昭和生まれとしては、100年と言われると時間を感じます。子どもたちもいつか「令和でいうと100年になるよ」という時の流れを感じる日が来るのでしょうか。

皆様におかれましては、穏やかな楽しいお正月を迎えられたことでしょうか。また日頃なかなかお会いできない御祖父様、御祖母様や親戚の方々と過ごされたご家庭もあったかと思えます。幼稚園では、各学級で子どもたちに、この冬休みに楽しかったことや思い出に残っていることなどを聞きながら、3学期がスタートします。

さて、今年の干支は「へび（巳）」ですが、子どものころは、なぜ巳（へび）が十二支の中に入っているのか、不思議に思っていました。蛇嫌い（蛇はいろいろなお話やテレビのヒーローものでも大抵が悪役でしたから）だったこともあり、十二支というおめでたい動物の中に、選ばれているのかが本当に疑問でした。けれども、蛇が脱皮をすることから「生命」や「再生」の象徴と言われていることや「金運をもたらす」などと言われていることを知るにつれて、納得できたことを思い出します。また、今でこそ、なかなか蛇に道で出会うなんてことも少ないですが、昔は、日常生活の中にいた動物だったことも容易に想像できます。今年の干支を詳しく十干十二支でいうと「乙巳（きのとみ）」です。この干支の組み合わせには、発展途上の意味と植物が大きく成長した意味の二つがあることから、今までの努力が実を結び始める時期を示唆しているといわれているようです。

子どもたちには、4月から各学年で積み重ねてきたたくさんの学びを、3学期に花開かせて、そして次の学年に進んでいってもらいたいと思います。「元気！と笑顔！」をより一層輝かせるべく、子どもの花開く姿を、保護者の皆様にも一緒に喜んでいただける3学期にしたいと思います。そのためにも教職員がチームとなり、教育活動に努めていきます。

令和7年も、小日向台町幼稚園の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

